

＜株式会社エフエム東京 第354回放送番組審議会＞

1. 開催年月日：平成20年12月2日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社11階 ジェットストリーム会議室
3. 委員の出席：委員総数7名（社外7名 社内0名）
◇出席予定委員（7名）

子安美知子	委員長		
青池慎一	副委員長	内木文英	委員
香山リカ	委員	横森美奈子	委員
渡辺貞夫	委員	内館牧子	委員

◇欠席委員（0名）

4. 議題

CM試聴：「日本民間放送連盟賞」「消費者のためになった広告コンクール」
「ACC CMフェスティバル」「カンヌ国際広告祭」などの各賞
を受賞したCM（TOKYO FM制作）を試聴
（試聴時間：約15分）

【試聴CMリスト】

～20秒CMから～

- CM-1 味の素 Jinoフォレスティーノ「身体測定」20秒
＜日本民間放送連盟賞CM部門 優秀賞＞
- CM-2 味の素 Jinoフォレスティーノ「お熱」20秒
＜ACC・全日本CMフェスティバル ブロンズ＞
- CM-3 カルピス いいこと茶「今日のできごと」20秒
＜ACC・全日本CMフェスティバル シルバー＞
- CM-4 日本テトラパック 企業「小さな森」20秒
＜消費者のためになった広告コンクール 銅賞＞

～環境CMから～

- CM-5 東京ガス 環境「どんぐりプロジェクト」80秒
＜ACC・全日本CMフェスティバル ファイナリスト＞

CM-6 コスモ石油 コスモアースコンシャスアクト
「自然から生まれた音色」120秒
＜日本民間放送連盟賞CM部門 優秀賞＞

～味の素企業CMから～

CM-7 味の素 企業「プレッシャー電鉄／黄昏」120秒
＜JFN CM大賞、日本民間放送連盟賞CM部門 最優秀賞、
ACC・全日本CMフェスティバル シルバー＞

CM-8 味の素 企業「ボーン・イン・アフガニスタン」180秒
＜消費者のためになった広告コンクール 金賞＞

～カンヌ国際広告祭CMから～

CM-9 キヤノンマーケティングジャパン EOS Kiss デジタル
「あっという間に」40秒
＜カンヌ国際広告祭・ラジオグランプリ、ACCゴールド＞

【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側説明）

- 数十秒の中に、これだけのドラマを入れてしまうことは、素晴らしい。
日本テトラパックのCMは、「小さな森」というテーマから、なんとなく
内容の予想がついてしまったが、キヤノンマーケティングジャパンのCMは
気持ちよい裏切りがあった。ラジオCMは、「そう来たか」というような、
よい意味での裏切りがあるとよいと思う。
- 日本テトラパックのCMはキャッチーで、音もよかった。
味の素「プレッシャー電鉄」は、声優の声の変化が面白かったが、
身につまされる部分も大きかった。
キヤノンマーケティングジャパンのCMは、最後で納得させられた。
- ユーモア性によって広告色を出す傾向が強まっており、
広告界において“ユーモア”が、重要な役割になっていることを感じた。
また、環境イノベーションの展開を様々な企業が考えていることがわかり、
時代性を感じた。味の素「プレッシャー電鉄」は、やや辛口すぎか。

味の素「ボーン・イン・アフガニスタン」は、食文化のダイナミズムを考えさせられた。キヤノンマーケティングジャパンのCMは、音の可能性、ラジオコマーシャルの可能性を感じた作品だった。

- ラジオCMでは、説明的な文章は心に響かない。そんな中、どの作品もとても工夫がされていてよかった。言葉が耳に残っていくことが大事なのだと改めて感じた。
- 環境系のCMは、素直に伝わってくる感じがして、いいと思った。味の素「プレッシャー電鉄」は、女性にとっては、すごく面白い。味の素「ボーン・イン・アフガニスタン」は、文化をいい意味で、わかりやすく説明していて納得感があった。キヤノンマーケティングジャパンのCMは、音を映像化している効果があった。アイデアが良かった。
- 音だけで、どれだけ想像力を持続させられるかが、難しい点だと思った。
- コスモ石油のCMに、とても芸術性を感じた。環境系のCMは、啓蒙的なものから、日常的なものへと変わりつつある。そんな中、味の素「プレッシャー電鉄」は、ユーモアを装いながら、改めて身につまされるという点で、逆に効果があったのではないかと思う。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送：番組「リサ・ステッグマイヤーのクロノス」
12月26日（金） 5：00～8：30放送
- ② 書面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット：TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は2月3日（火）に開催することを決めた。

以上